

電界の籠兒

空間

HK技術研究所

初代所長は青田三郎氏兼務

研究所の直屬で

文化日本の再建はこれをすべて無線となすため

ラジオからとN.H.諸研究を主眼とするもの

この外全世界宇宙を縦横に馳

Rでは豊間町海岸へ超短波研究

所の新設を計画中のところいづれかの超短波關係のすべてを

諸準備も整つたので十日研究題に供し且つ海岸地帯のラ

から埠岸燈臺裏の舊海軍官舎内

を改造新看板を掲げることに

決して急いである、同研究所はN.H.

技術研究所の直屬で無線界

の開拓に超短波に関する一切の研

究を實施するものである、從つてその陣容も技術者のみでも十

數名を數へる點で現在同研

究所は横手山、富士山、銚子の

三ヶ所に設置されてゐるばかり

で、同所は全國第四番目のもの

数當り現在内地は南九州鹿兒島

から北は北海道帶廣迄幹線はす

て有線中継となつてゐるので

種々協議活動なる運動を開始す

ることになつた頃から左の通り

郡聯青いよ／＼發足

五方部に支部を設置して

全役員の顔觸も決定さる

▼會長石井覺雲(磐崎)、副會長

長松本一夫(上遠野)、木田好

足した郡聯合青年團では新役員

の顔觸れを左の如く決定、郡下

五方部に支部を設けて横の連絡

を密にする一方十一日前十時

から市内第三國民學校に郡議員

會議を開いて今後の運営について

(湯本)、体育根本政弘(澤茂)、植田方部(村清)、植田正(泉)

五方部

正

五

方

部

に

支

部

を

設

置

し

て

し

て

開

足

不正受配水で騒

八日列車の取締りの獲物は

米が三俵始め鮮魚五十貫等

にまぎれて同僚は故郷へそれ

に近づいたのでこれを機に移

勤務してゐる見込みで

正は可なるも議員の修正はお手

盛りとなり町民に申訴ないと反

對があり結局町當局及び正副

修意見を提出これに對し

わき才言

正は可なるも議員の修正はお手

盛りとなり町民に申訴ないと反

對があり結局町當局及び正副

修意見を提出これに對し

正は可なるも議員の修正はお手

盛りとなり町民に申訴ないと反

對があり結局町當局及び正副

